

採点基準 数学（文科）

【共通事項】

1. 約分の未了，根号内の整理不備は 1 点減点
2. 分母の有理化の不備については減点なし
3. 別解の配点は解答の配点に準ずる

【文科】（100 点満点）

第 1 問（40 点満点）

- (1) (配点 12 点) (各 4 点)
- (2) (配点 10 点) (各 5 点)
- (3) (配点 8 点) (各 4 点)
- (4) (配点 10 点) (各 5 点)

第 2 問（30 点満点）

- (1) (配点 6 点)
 - y の式を平方完成して 2 点
 - 最大値のときの x の値に 2 点
 - 最大値に 2 点
- (2) (配点 5 点)
 - 2 つの場合の $f(x)$ の式を求めて 2 点
 - グラフに 3 点
- (3) (配点 5 点)
 - $(t+1)|t-2|=(t+2)|t-1|$ を計算して 2 点
 - t を求めて 3 点
- (4) (配点 10 点)
 - 適切な場合分けに 2 点
 - それぞれの場合の式に 6 点 (各 2 点)
 - グラフに 2 点
- (5) (配点 4 点)
 - k の範囲を求めて 4 点

第3問 (30点満点)

(1) (配点4点)

- \overrightarrow{OC} を \overrightarrow{OA} 、 \overrightarrow{OB} で表して2点
- \overrightarrow{OD} を \overrightarrow{OA} 、 \overrightarrow{OB} で表して2点

(2) (配点16点)

- Eが直線OA上の点であることから、 \overrightarrow{OE} を表して2点
- Eが直線BD上の点であることから、 \overrightarrow{OE} を表して2点
- s, t を求めて2点
- \overrightarrow{OE} を \overrightarrow{OA} で表して2点
- Fが直線OB上の点であることから、 \overrightarrow{OF} を表して2点
- Fが直線AD上の点であることから、 \overrightarrow{OF} を表して2点
- u, v を求めて2点
- \overrightarrow{OF} を \overrightarrow{OB} で表して2点

(3) (配点4点)

- 正しい証明に4点

(4) (配点6点)

- $\triangle OPR$ と $\triangle OPQ$ の面積比に2点
- 四角形OBPQと四角形OBPRの面積比を求めて4点